

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	709	地産地消事業	会計	01	一般会計
基本施策	43	伊賀ブランドの価値を高め、売り出す。	款	06	農林業費
担当部課名	島ヶ原支所 産業建設課		項	01	農業費
作成者氏名	増田 伸一	連絡先	目	03	農業振興費
		59-2294	細目	113	地産地消事業
			細々目	01	地産地消事業

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
奥村区		奥村区に農産物処理加工施設の管理を委託することにより、施設の管理・運営が円滑に行える。			
本年度事業内容	農産物処理加工施設の維持管理 (平成17年度)施設に係る燃料費、光熱水費、修繕料、維持管理委託料支出 (平成18年度)指定管理料の支出				
開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 22 年度	根拠法令・要綱等	島ヶ原農産物処理加工施設の管理に関する包括協定書

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.25	0.25	0.25
人件費合計(A)	1,800	1,800	1,800
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	228	155	155
委託料	24	155	155
需用費	204		
その他			
合計(A+B)	2,028	1,955	1,955
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	2,028	1,955	1,955
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
指定管理料	円		155,000	155,000			
施設年間利用日数	日	125	125	125			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
施設年間利用率 (年間利用日数/年間利用目標日数)	施設年間利用率を算定するため、年間利用目標日数を分母とし年間利用日数を分子とした。	%	100 目標 ()	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

「農産物処理加工施設」は、昭和62年度に地域農業拠点整備事業により整備された施設で、営農活動のための利用及び特産品の加工を行っている。平成18年4月1日より指定管理者として奥村区が施設の管理を行っているが、地区に集会施設が別途設置されており、加工施設以外の利用率が低い。また、奥村区が指定管理するまでは、行政より委託を受けて同区が管理をしていたが、維持に係る経費を全て行政が負担していた。平成18年4月1日以降は一部料金徴収の見直しもあり、全体的な経費は削減されている。

評価	必要性	4	島ヶ原農産物処理加工施設の管理に関する包括協定書により奥村区が5年間指定管理者として位置づけられ、継続した実施が必要。	総合評価 A
	有効性	3		
	達成度	4		
	効率性	4		